

草廬「（荒い呼吸。怒りで言葉が出ない）」

草風「なんで黙ってた。汀（みぎわ）のこと。

浪岡「そうしてくわつて。汀が」

浪岡「（手紙を差し出し）汀から」

汀（声）「マサトへ。マサトがこれ読んでるっ

あ。黙っててごめん。病気のことで。言い訳

りやダメだになってたとき。思っちやつ

分でも、そんなこと思う自分にびつくりし

か
つ
た
ヤ
ツ
だ
け
ど
。
ウ
チ
の
母
親
み
たい
だけ

ぱり思っちゃって。どんな手使ってもマサ

ん。こ
うい
うの
で
ご
め
ん。こ
う
い
う
好
き
で、

「みぎわ。みぎわ」

浪岡「（かける言葉を探している）」

草
風「（鳴咽）」

草風「は？（気が抜けて）ああ。食う」

草風と浪岡、微笑みあう。